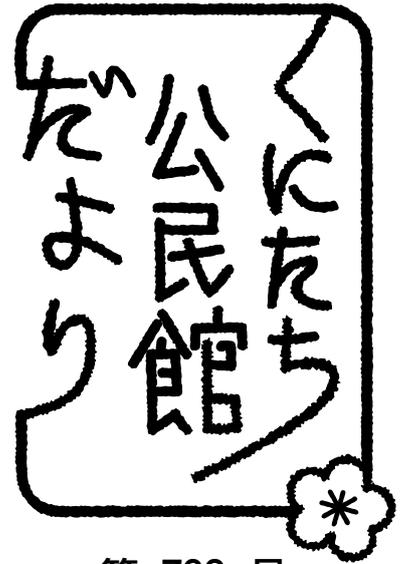


国立市公民館が 文部科学省 第78回優良公民館表彰において 「最優秀館」に選ばれました!

現在、全国に公民館・生涯学習センター等は約1万3千館あり、本表彰は全国から推薦を受けた公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫を凝らし、地域住民の学習活動に大きく貢献している施設が表彰されるものです。公民館で活動されてきた多くの市民や関係者のみなさんに感謝いたします。



第 793 号

2026年 3月 5日
(令和 8年)

「くにたち公民館だより」
デジタルブック ▶



発行

国立市公民館

〒186-0004

国立市中1-15-1

TEL 042-572-5141

FAX 042-573-0480

休館日：毎週月曜日

2026(令和8)年2月6日(金)表彰式 文部科学省講堂にて、清水大臣政務官(左)より賞状を受け取る雨宮教育長



「受賞謝辞(要旨)」
国立市教育委員会
教育長 雨宮和人



この度は、第78回優良公民館表彰において、最優秀館という大変な栄誉ある賞を賜り、誠にありがとうございます。

昨年11月に開館70周年を迎えた国立市公民館は、毎月活発に議論を重ねてきた公民館運営審議会の活動、毎月発行・全戸配布で学びの情報や成果を市民に届けてきた「公民館だより」、そして現在取り組んでいる70周年記念事業の実施など、市民参加を基盤とした運営を大切にしてきました。

事業においては、職員が市民と協働しながら、「誰もがともに学び合う」共生の地域づくりに取り組んでまいりました。多様な学習機会を通じた人と人とのつながりを育んできたことが、今回の評価につながったものと受け止めております。

今回の受賞は、日々私たちを支

審査員講評

・ソーシャルインクルージョンやウェルビーイングというまちづくりの目標に対して、特にしょうがいしゃや外国人を対象とした事業展開は、全国の公民館をリードし大きな影響力を発揮してきた歴史を持っていて、現在もそれを発展させつつある。
・職員の専門性確保の努力や、月1回の公民館運営審議会の開催による評価改善の努力など、全国の公民館の手本となる活動を展開している。

えてくださる地域、関係団体、そして職員をはじめとする国立市公民館に関係するすべての皆様とともにつくり上げてきた証であり、この上ない喜びであります。
今後この受賞に満足することなく、誰一人取り残されることのない学びの場として、地域とともに歩み続けてまいります。

表彰の詳細は
ホームページを
ご覧ください。





公民館70周年事業

3月10日(火)、
公民館正面に、
70周年記念メッセージを
掲示します！

昨年より「公民館70周年事業を
ともに考える会」を立ち上げ、市
民のみなさんと様々な記念事業に
取り組んできました。

そして今回、「公民館がどんな
施設なのか、外観から分かりにく
い」という声が多く寄せられてい
ることから、正面のガラス面に、
公民館がどのような場であるのか
を伝える、70周年記念メッセージ
を掲示することとなりました。
デザインやメッセージの内容は、
メッセージ班の市民の方々と検討
を重ねて、作り上げました。

70周年記念メッセージへの思い
朝山 尚樹
(公民館70周年事業を
ともに考える会)

公民館70周年の記念事業のなか
で、私たち「メッセージ班」は、
公民館の入口側道路に面したガラ
ス壁に、カットニングシートのデ
ザインを検討しました。
検討を続ける中で、公民館が大
切にしている想いとそれを具象化
したデザインを考えていくこと
になりました。
外から公民館を眺めたところ、

**今日もここから
学びが生まれています。**

国立市公民館
KUNITACHI KOMINKAN

開館時間 9時～22時
休館日 月曜日、年末年始
電話番号 042-572-5141

会場利用は 3人から どなたでも
無料です 講座いろいろ

詳しくは2階受付へ
「くにたち公民館だより」もご覧ください

公民館図書室
KOMINKAN LIBRARY

開室時間 9時～17時
水・土曜のみ 9時～20時

正面玄関の案内表示

学習権とは、
読み書きの権利であり、
問い続け、深く考える権利であり、
想像し、創造する権利であり、
自分自身の世界を読みとり、歴史をつづ
る権利であり、
あらゆる教育の手だてを得る権利であり、
個人的・集団的力量を発達させる権利で
ある。

ユネスコ「学習権宣言」(1985年)

学習の四本柱

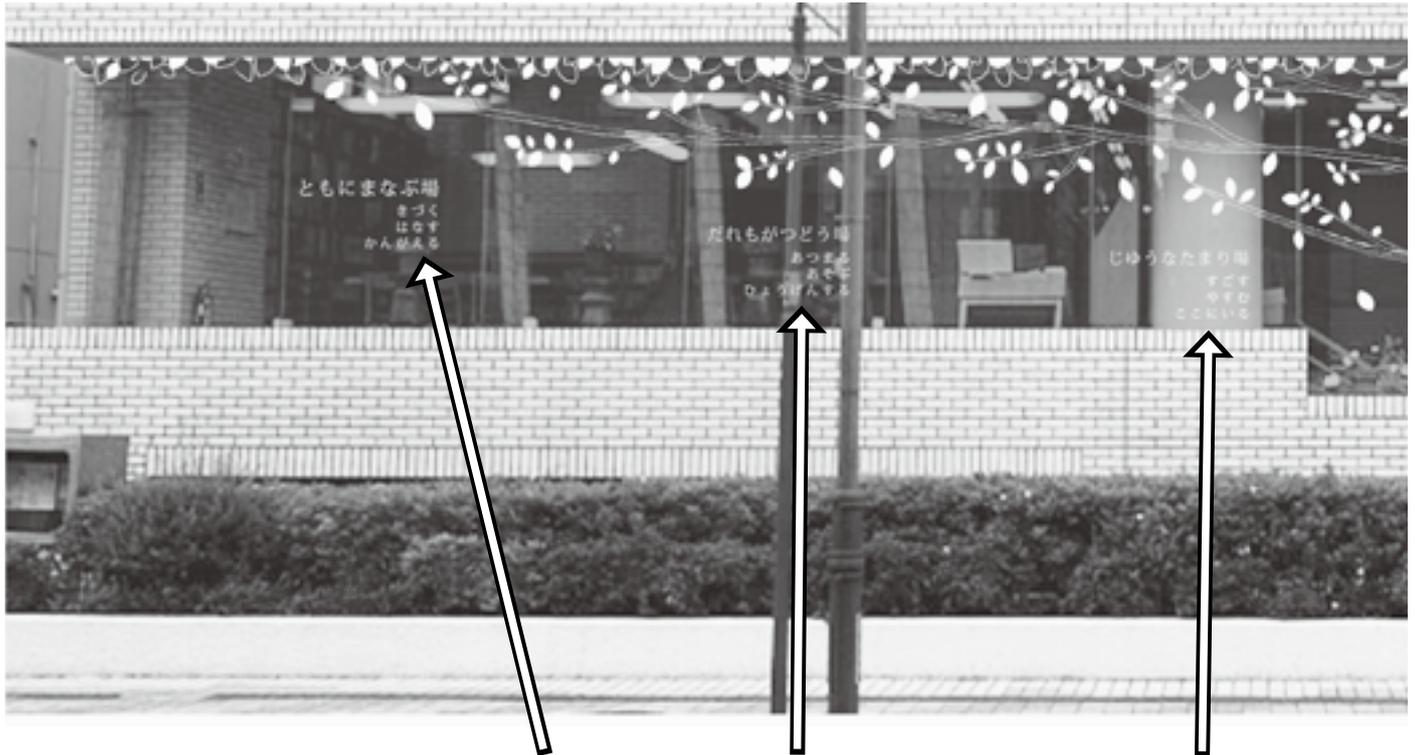
- ・ 知ることを学ぶ (learning to know)
- ・ 為すことを学ぶ (learning to do)
- ・ 共に生きることを学ぶ (learning to live together)
- ・ 人間として生きることを学ぶ (learning to be)

ユネスコ21世紀教育国際委員会報告書
「学習・秘められた宝」(1996年)

公民館が大事にしている理念を掲載

「国立市公民館」と表示された玄
関ルーフの緑や柱が樹木を思わせ、
そこから「思索の森」という言葉
が浮かび上がりました。公民館の
エントランスはまさに思索の入口。
公民館で出合い、ともに学び、考
えていく、そんな市民の「思索の
森」であるというイメージをメン
バーで共有し、樹をイメージした
デザインを構想しました。

掲載するメッセージの内容は、
公民館や社会教育の基本理念とさ
れているユネスコの「学習権宣言」
(ユネスコ国際成人教育会議採択
1985年)の抜粋と「学習・秘
められた宝」(ユネスコ21世紀教
育国際委員会報告書、1996年)
から「学習の4本柱」を引用し、
樹木の幹の周辺に配置。また、図
書室側のガラス面には、1960
年代のくにたち公民館がモデルに
なった「公民館三階建論」に着想
を得て、「ともにまなぶ場・だれ
もがつどう場・しゅうなたまり場」
という多様な関わりを喚起する公
民館の利用イメージを掲示するこ
とに決めました。併せて公民館の
基本情報を新たに入口に掲示し、
初めての来館者をご案内します。
ぜひ70年目に装いを新たにした
公民館の「メッセージ」をご覧い
ただきたいと思えます。



公民館の多様な
利用イメージを
表現しました

ともにななぶ場
きづく
はなす
かんがえる

だれもがつどう場
あつまる
あそぶ
ひょうげんする

じゅうななまり場
すごす
やすむ
ここにいる

くにたち公民館 70 周年

公民館とわたし ⑧

いま、私は公運審、公民館だより編集研、「70周年事業をともに考える会」に関わっています。審議会等では発言の責任の重さや、課題対応の難しさを感じていますが、公民館の歴史にふれながら、これからの公民館を仲間と考える喜びもあります。私にとって「一期一会」にも「日常」にもなる公民館の学びとつながり。大切な宝物です。
幸島裕子 「社会教育」を学び、思いをかたちにしたい！



講座「はじめての銅版画」に参加したところ、中学の美術以来の銅版画は面白く、すっかりとりこになってしまい、講座終了後には、サークルまで立ち上げてしまいました。あれから12年経ちましたが、いまだに版画の魅力にとりつかれています。それも公民館に版画用プレス機があったからです。プレス機で刷る、その楽しさから、サークル名は「おれす・る」です。



中井一人 講座に出たからこそ、今があるのかなあ

本好きが高じ「図書室のつどい」へ参加。HPにて申込時「子育て短歌入門講座」があることを知りました。



田久保薫子 「私の本棚から」の執筆も貴重な思い出。講座後、喫茶わいがやでの一服。心も体も緩みます

公民館との出会いは「喫茶わいがや」を通してでした。しょうがいしゃと健常者が共に働くという「居場所」にとっても愛着を持っています。足の不自由な方の車椅子を押したりすることもあれば、次の瞬間には私自身がその方に助けってもらったり、お互いに助け合いながら（時には優しいお客様に助けてもらいながら）営業しています。

萩谷 コーヒーを美味しくドリップ出来るよう練習中

70周年企画として開始した連載コラム「公民館とわたし」は、今回で最終回です。メッセージをお寄せいただいた総勢33名のみなさま、誠にありがとうございました。

〈女性の生き方を考える講座〉

女性のライフデザイン

保育付
講座

人生には、様々な選択や意思決定をするときがあります。育児や介護、パートナーや家族関係、仕事や将来について悩む人も少なくありません。悩むのは「こう生きたい」という希望や目標が、様々な理由で揺れているからかもしれません。

自分はどうのような人生や生活を望んでいるのか、それを実現するにはどうしたらいいのか、具体的に考えてみませんか。同じ地域に暮らす女性たちと一緒に話し合うことで、現在、そして次のステージを見つめてみましょう。

なお、大人が学んでいる間、子どもを公民館保育室であずかる仕組みがあります。保育室は、公民館で学ぶ大人の学びを支え、保育室で過ごす子どもにとってもより豊かな生活、成長の場となることを目指して運営しています。

〈取り上げるテーマ(予定)〉

- ・公民館と大人の学習
- ・子育てをめぐるジェンダー
- ・女性のライフコースを考える
- ・わたしたちのからだ性と考える
- ・これからの生き方を考える一働くことと生活すること
- ・地域で活動する一社会課題に取り組むこと

〈男性の料理入門〉

親子で手打ちうどん作り

講師 北川 みどり (管理栄養士)

普段家事をする機会が少ない男性の料理入門として、子どもと一緒にお昼ごはんを作ってみましょう。

今回は、うどん打ちです。原料となる小麦粉がどのようにしてうどんになるのでしょうか。親子でうどん打ちを体験し、ゆで上げたうどんをつけ麺と汁麺の2種類で食べます。その他の献立に、野菜のみみ漬けとフルーツを予定しています。どうぞご参加ください。

とき 3月28日(土) 朝10時～昼1時

ところ 福祉会館 3階料理講座室

定員 親子8組(お祖父さんでも可)

費用 1組(子ども1人まで) 1,400円

(子ども2人まで) 1,500円

(子ども3人まで) 1,600円

※3月19日(木)までに公民館へお支払いください(受付時間:月曜日以外の朝9時～夕方5時)。

持ち物 エプロン、三角巾、ポリ袋(ゴミ持ち帰り用)、ふきん2枚(台ふき用、皿ふき用)、筆記用具

申込先 3月11日(水)夜9時までの間に、申込フォームより。応募者多数の場合抽選。※13日(金)以降、空きがあれば電話で申し込みを受け付けします。



コーディネーター 堀本 麻由子 (東洋大学)

ゲスト講師 池田 和嘉子 (日本女性学習財団)

木山 直子(くにたち男女平等参画ステーション)

池谷 美衣子 (東海大学) ほか

とき 毎週木曜日、朝10時～12時。全11回。

5月21日～9月17日(7月16日～8月27日は夏休み)

ところ 公民館 3階集会室ほか

対象 女性(年齢不問) 定員 12名

申込先 3月12日(木)朝9時～ 電話で公民館へ

保育

子ども定員 10名程度(市内在住の方のみ、講座初日に概ね生後6か月～未就学児。申込先着順)。講座と同時に申し込み。

保育申込締切 5月7日(木)

保育室オリエンテーション

5月14日(木)朝10時～

おやつ代275円(全11回分)

をご持参のうえ、お子さんと一緒に参加してください。



シネボックス 公民館映画会

『突然炎のごとく』

Jules et Jim

フランス 1962年 白黒105分 ※Blu-ray版

監督・脚本 フランソワ・トリュフォー

原作 アンリ=ピエール・ロジェ

脚本 ジャン・グリユオー 撮影 ラウル・クタール

音楽 ジョルジュ・ドルリュ

出演 ジャンヌ・モロー、オスカー・ウェルナー、アンリ・セール、マリー・デュボア ほか

ゴダールらと共に映画表現に革命を起こし、ヌーヴェル・ヴァーグ(新しい波)と評された名匠フランソワ・トリュフォーが、まるで女優ジャンヌ・モローに捧げたかのような《愛》の名作。自由奔放な愛に生きる女と、彼女に翻弄され魅了されていく二人の男との複雑な愛の形を、瑞々しく繊細な映像表現で美しく描き上げ、トリュフォーの代表作となった。

とき 3月22日(日) 昼2時～(開場昼1時30分)

ところ 公民館 地下ホール

定員 70名(申込先着順)

申込先 3月11日(水)朝9時～

電話または申込フォームより

※事前申し込み制となっています。必ず電話、窓口、申込フォームのいずれかにて事前にお申し込みください。



〈女性の生き方を考える講座・公開講座〉

話題の本『母親になって後悔してる、
といえたなら』から考える

—「子どもを愛している。それでも母でない人生を思う。」—

お 話 高橋 歩唯
(NHK 報道局社会部記者)
依田 真由美
(NHK 報道局社会部ディレクター)

今回の講座では、NHK クローズアップ現代「“母親の後悔” その向こうに何が」(2022年12月放送)に登場する母親たちを放送後も丁寧に取材し続けるなかで、表題作(新潮社、2024年)をまとめられた高橋さんと依田さんのお二人をお招きし、お話を伺います。

「母親になって後悔してる」、この言葉に接して心がざわつく方もいるかと思います。「これは私のことだ……」「こんなこと思う人がいるの?」「言葉にできてしまっている?」。人によって捉え方は違うかもしれません。

「後悔」を語る母親たちを取材する中で見えてきた、母親であることへの苦悩や葛藤。そしてそれらを生み出す社会的背景とは……?

お二人のお話に加え、「女性の生き方を考える講座」の受講者による座談会を行い、日頃感じていることを共有し合う時間にしたいと思います。母親、母親になることを悩んでいる方、父親、夫、母親を取り巻く立場の方、学生など、年齢問わず様々な方のご参加をお待ちしています。

「女性の生き方を考える講座—女性のライフデザイン—」(2025年5月~9月実施)の参加者の学びの中から出てきたテーマを取り上げました。

と き 4月11日(土) 朝10時~12時
ところ 公民館 地下ホール
定 員 60名(申込先着順)
申込先 3月13日(金) 朝9時~
電話または申込フォームより



—5月分(ロビー)6月分の
会場調整会のお知らせ—

申込書のポスト投入期間	3月7日(土)~3月26日(木)
予約の重なりがあった団体の掲示開始日(国立市HPにも掲載)	3月28日(土) ▶重なり状況
会場調整会	4月4日(土)朝10時~ 会場: 地下ホール

※会場調整会当日は朝10時までに受付してください。

〈職員不定期コラム「公民館の窓」〉
子育ての日々を短歌に

「子育て短歌入門講座(全9回)」が始まり今年で3年目になります。

この講座を企画したきっかけは、子育て中の方を対象にした講座を考えている時に、歌人の俵万智さんの著書『たんぼの日々』に出会ったことでした。俵さんの子育てを詠んだ歌やその想いに触れ、「こんなふうには日々の子どもとの暮らしの瞬間を歌に留められたら、どんなに素敵だろう」と感じたからです。

毎年、参加者の多くは短歌初心者の方々ですが、講師の花山周子さんに教わりながら創作を楽しんでいます。私自身も一年目に皆さんと一緒に挑戦する中で、短歌が持つ二つの魅力に気づかされました。

一つは、何気ない風景に彩りが生まれることです。短歌を詠もうと意識することで五感が刺激され、慌ただしい毎日の中で見落としていた小さな幸せや、季節の移ろいに、心が研ぎ澄まされていくように感じました。

もう一つは、気持ちを分かち合えることです。歌を通してお互いの生活や子どもへの想いが垣間見える瞬間があり、大笑いしたり、



時にはほろっとさせられたり……。作った歌を発表し合う時間は、日常の喜びや葛藤を共有する大切な場となっています。今年度も、11人の参加者が子育ての日々を紡いだ宝物のような冊子ができあがりしました。公民館図書室にて閲覧できますので、ぜひご覧ください。(S・K)

公民館運営審議会報告

2月10日(火) 第35期第16回定例会を開催。委員12名、館長、職員2名出席。傍聴人5名。前回議事録確認 議事録修正あり。

報告事項

○公民館だより編集委員会、社会教育委員の会、東京都公民館連絡協議会、社会教育学習会より報告。2月7日(土)開催の東京都公民館連絡協議会研究大会出席委員より学びと感想を共有。70周年記念事業の進捗について、ヒアリング班・メッセージ班・記念誌班より活動の報告。

審議事項

○主催事業で作成した「活動記録

冊子」の国立市公民館ホームページへの公開について、委員長より経緯の確認。

○「職員人事要望書(案)」について検討。提出者は第35期公民館運営審議会とする。内容は一部修正後、2月下旬の提出を予定。

○館長諮問「サークル活動をはじめとする公民館利用の拡大に向けた方策について」に関連し、委員長より提案された今後のスケジュールに沿い、分科会(①サークル活動からの検討、②講座からの検討)のグループ分けを行い、各班次回定例会へ向けて、打ち合わせ日程調整及びグループ内での検討内容について意見交換。

次回3月26日(木)夜7時15分から講座室。傍聴歓迎。(木島)

今月の公民館 (3月~4月)

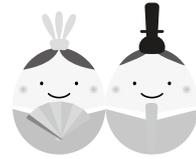
- 3月7日(土) 昼 図書室のつどい「言葉に分け入ったとき
~日本語という外国語を操る9人のエピソード」
- 14日(土) 昼~ 近現代詩講座「越境する感受性
-茨木のりこを読む」
- 15日(日) 昼~ 女性の読書会「柚木麻子『BUTTER』を読む
-文学作品から考える女性の生き方-」
- 21日(土) 昼~ 文化・芸術講座「美術館学芸員のお仕事
~ひとつの展覧会ができるまで~」
- 22日(日) 昼 シネボックス CINEVOX 『突然炎のごとく』
- 28日(土) 朝 男性の料理入門「親子で手打ちうどん作り」
- 4月11日(土) 朝 女性の生き方を考える講座・公開講座
「話題の本『母親になって後悔してる、といえたなら』から考える」

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問い合わせください。

公民館 ☎042(572) 5141



▲講座等の案内



ひまわりば

楽しく歌おう「ひまわりの会」

指導者はピアノニストで表現豊かな演奏で会員を曲の世界へと誘わない歌う楽しさを感じさせてくれます。童謡、唱歌、日本や世界の名曲を歌います。乞うご入会。

日時 第2・4水曜日 朝10時
場所 北市民プラザ多目的ホール
連絡先 新里02(57) 1062

くにたち囲碁クラブ会員募集

囲碁を愛好する会員相互の親睦及び棋力向上を目的に活動。会員登録は福祉会館内の「なごみ」に登録した市内在住の60才以上の方。年会費2400円。

日時 火祝日を除く毎日 昼1~4時半
場所 福祉会館 2階 娯楽室
連絡先 増川090(6104) 3450

くにたちE・S・S・会員募集

四月からテキストを換えて、文法を基礎からしっかりと復習していきます。月一回はカナダ人のニコル先生に依るヒヤリング練習です。興味のある方ご連絡ください!

日時 毎週水曜日 朝10時~12時
場所 公民館(部屋未定)
連絡先 島田080(3217) 3598

スペイン語の会話会 会員募集

初心者のための基本単語とフレーズ、スペイン語で色々と話をしましょう。旅行、文化、踊り、一緒に料理もしましょう。楽しい時間を過ごせるメンバー募集中です。

日時 毎週金曜日 朝10時
場所 公民館
連絡先 カリン080(3504) 1707

くにたち写真遊会 写真展

当会は近隣の写真愛好家が集まったサークルです。会員がこの1年で撮った風景、花、スナップなどの作品40点余をご披露いたします。新会員も募集しています。

日時 3月24日(火)~29日(日)
場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 榎戸090(7725) 5124

座間味島の「集団自決」とは

元中学の社会科教員で沖繩・座間味島で起きた「集団自決」の話を聞き「語り部の伝え部」として活動する津田憲一さんと考える。加害者としての戦争を語る会主催。

日時 3月28日(土) 昼2時
場所 公民館 講座室
連絡先 龍野090(469) 1094

マトリョーシカの会コンサート

星の歌を全員で日本語とロシア語で歌います。カナ付きの楽譜がありますので、初めての方でも歌えます。資料代500円

日時 3月28日(土) 昼3時~4時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 大貫02(572) 5214

〈サークル訪問413〉

シンフォニエッタくにたち

「シンフォニエッタ」とはイタリア語で小さな交響曲を意味するが、総勢30人余の小さな楽団がシンフォニエッタくにたちだ。

多くのアマチュア楽団は年数回の演奏会開催を目標とし、練習に励む。やりがいも達成感もあるのだが、会場確保やチケット販売、人数不足の奏者の手配等、時間的経済的負担もある。演奏会ではなく、皆で合奏を楽しみたい!と楽団経験者で結成された。初練習は、2019年7月31日。

取材当日は、FSXホール(芸小ホール)での公開練習日。練習してきた曲の成果を、誰でも自由に聴いてもらえる公開練習日を設定している。曲目はベートーヴェン交響曲2番とモーツァルト歌劇「イドメネオ序曲」。9時30分から11時まで練習し短い休憩後、11時45分まで全2曲を通して演奏する。

観客は少数だったが、総仕上げだけあり気合が入り息の合った演奏。様々な楽器から紡ぎだされる音がホール中に響き共鳴し合い、全身が包まれる。会場のFSXホールの響きも素晴らしい。

常任指揮者の秋田潤一さんは、芸大卒のフルーティストで団員で

もあるのだが、乞われて指揮を受け持つこととなった。指揮法は独学だそうだが、とてもそうは思えない立派な指揮ぶりだ。

次の練習曲目はハイドン交響曲「時計」、モーツァルト歌劇「ドン・ジョヴァンニ二序曲」。古典を中心とした選曲で合奏を楽しむのが、当初からのスタンスだ。

この日は終了後、近くのカフェレストランで打ち上げランチだそう、それも楽しそう!

現在、楽団経験のある団員を募集中(弦楽器、トランペット)。詳細はホームページで。練習日時 原則第3木曜日 朝9時30分~昼12時

練習場所 FSXホール
参加費 1000円/回
連絡先 <https://sinf-kunitachi2021.jindofree.com>
〈文・写真 公民館だより 編集研究委員 大山 葉子〉



アンサンブルを楽しもう!

